

奥会津において、戦国時代の古典籍が大量に発見されました。その数は300点を超えます。これらの多くは伊達政宗の会津侵攻の最中、玄純房祐俊という一人の学僧が書写したものです。そこには、『神皇正統記 只見本』（福島県指定重要文化財）をはじめとする貴重な古典籍が数多く含まれています。これらは、只見町をはじめ、金山町・南会津町・会津若松市に広く存在しており、会津地方全体の文化遺産でもあります。このシンポジウムは、新発見の資料にもとづき、戦国時代における会津地方の仏教文化を解明しようとするものです。

シンポジウム

2021年 10月3日(日) 13:30~16:00

会場 季の郷 湯ら里
コンベンションホール「ゆきつばき」



只見町黒谷の瀧泉寺から発見された中世古典籍

奥会津の戦国期文化をさぐる — 学僧祐俊の旅と文化遺産 —

報告① 久野俊彦 (東洋大学講師)
戦国期の学僧祐俊の旅と文化遺産 — 奥会津に遺された古典籍

報告② 阿部泰郎 (龍谷大学教授)
仏教典籍の中央と地方 — 奥会津で発見された古典籍の価値

報告③ 坂本正仁 (大正大学名誉教授)
京都と東国の交流 — 京方法流本寺僧の東国下向と会津

コメント 近本謙介 (名古屋大学教授)
阿部美香 (昭和女子大学講師)
ブライアン・ルパート (神奈川大学教授)

討論
テーマ「奥会津における新発見の文化遺産の意義と展望」
司会 **小池淳一** (国立歴史民俗博物館教授)



『神皇正統記 只見本』
天正15年(1587) 祐俊書写



世に唯一の『乾坤塵砂鈔』
天正14年(1586) 祐俊書写

入場無料 定員100名

YouTube

インターネット同時配信
YouTubeで検索“只見町教育委員会”
ライブ配信後も視聴できます



主催：福島県只見町・只見町教育委員会
福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地の30 (お問合せ) TEL.0241-82-5320

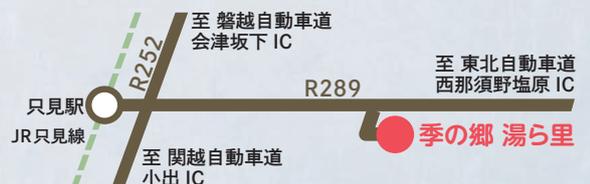
共催：国立歴史民俗博物館 千葉県佐倉市

後援：福島県教育委員会・金山町教育委員会・南会津町教育委員会

協力：日本学術振興会 (JSPS) 科研費基盤 (A) 「中世拠点寺院の蔵書と美術に基づく人と知のネットワーク解明」(代表者：近本謙介)

助成：第49回(2020年度)三菱財団人文科学研究助成

「地域と連携する宗教文化遺産の探査とアーカイブ化による文化遺産と社会の創成」



季の郷 湯ら里 | 福島県南会津郡只見町長浜字上平50 TEL.0241-84-2888